

2020年度 川内原子力防災訓練（2/18）における課題対応等について

1. はじめに

2021年2月18日に実施した川内原子力防災訓練時において、振り返り等で抽出された意見を踏まえ、以下の改善事項を抽出した。

抽出された課題に対し、それぞれ区分を設定し、改善に向けた取組みを検討する。

【抽出された内容】

（ 部見直し箇所）

No	抽出された課題 等	区分	改善事項 等
1	ERCへの説明において、プラント状況の全体像を把握しやすくするために <u>正確性、即応性及び伝わりやすさの観点</u> で更なる向上を図る必要がある。	情報共有	■ERCへの説明方法等の見直し
—	その他主な改善内容	その他	■設備状況・戦略シートの見直し ■予測される対策等の説明 ■EAL説明内容の充実

抽出された課題等に対する更なる改善事項について、来年度の社内訓練に向け、今後習熟訓練等を実施し、対応者の対応能力向上を図る。

2. 検討内容

No1：ERCへの説明方法等の見直し

（課題）

- ERCへの説明において、プラント状況の全体像を把握しやすくするために正確性、即応性及び伝わりやすさの観点で更なる向上を図る必要がある。

（原因・要因）

- 発話者は、ERCへCOPを用いた説明を行おうとしたが、総括班が作成したCOPが手元に届いていなかった。その結果、プラント状況を十分に把握できていない状態で、社内TV会議を通じてプラント状況を入手した情報入手者から提供された情報を速やかにERCへ説明を行ったため、断片的な説明となり、ERCへ伝わりやすい説明ができていなかった。
- 即応センターにおいて、発電所からの情報を入手する要員からERC対応ブースの発話者までの情報伝達の中で、要員の配置や情報の受け渡し方法が原因で、ERCに対し、発話者が説明の必要なタイミングで十分な情報を入手できていなかった。

(対策)

- ERCに伝わりやすい説明を行うため、ERCに対してCOPを用いた説明に
こだわらず、プラント状況を十分に把握したうえでERS SやCOP等を組み
合わせた説明に努める。
→ERCに伝わりやすいプラント状況の説明に寄与できる。
- 発話者がERCに説明が必要なタイミングで十分な情報を入手できるように、
情報の入手方法の見直しを行う。
→ERCへのプラント状況の全体像をとらえた説明に寄与できる。

区分：「その他」に関する主な改善内容等

No	改善内容 等	対策 等	備 考
①	<p>設備状況・戦略シートの見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・COPを適切なタイミングで適切な内容を含むものとして作成できていない可能性がある。 ・COPを意図通り活用できていない可能性がある。 ・全体戦略欄が狭い。 	<p>■プラント状況に見合った内容で設備状況・戦略シートを用いて、ERCに説明できるように設備状況・戦略シートを見直すことを検討する。</p>	<p>社内振返り NRA 助言</p>
②	<p>予測される対策等の説明 プラント状況の変化に伴い、予測される事象や操作等の説明が十分に行えていなかった。</p>	<p>■プラントパラメータ変化や機器停止等のプラント状況の変化だけではなく、それらの変化に伴い予測される事象や操作等を説明することにより、ERCに伝わりやすい説明を心掛ける。</p>	<p>NRA 助言</p>
③	<p>EAL説明内容の充実 EAL説明時は、プラント状況によらず、発話が可能なタイミングでEAL判断フローを用いた該当条件の説明のみを行っていた場面があった。</p>	<p>■EAL判断フローを用いた該当条件の説明だけではなく、EAL判断の要因となったプラント状況を関連付けた説明を心掛ける。</p>	<p>NRA 助言</p>

以 上